

一粒丸三橋薬局

一粒丸三橋は、300 種類を超える日本の伝統的な生薬をつくる製薬会社である。創業は 1688 年-1704 年の間と言われている。社名の元になった道中薬「はらのくすり成田山一粒丸 (Ichiryugan on-the-road stomach medicine)」は、成田山新勝寺へ詣る人々に、300 年以上にわたって販売されてきた。黒塗りされたしっくい作りの 2 階建ての建物は、明治時代(1868 年-1912 年)に建てられたもので、日本の有形文化財に指定されている。